



## 申4号「駅体制の見直しについて」に関する申し入れ提出!

JR東労組水戸地本は2025年1月に「駅体制の見直しについて」提案を受けました。提案では、効率的な業務執行体制を構築し、生産性の向上を図り、経営体質の抜本的強化に取り組むため、駅体制の見直しを実施するとしています。

今回の提案内容では、龍ヶ崎市駅にお客さまサポートコールシステム導入、泉駅は貨物列車の一部運転取止めに伴う作業ダイヤの見直しが見直しが示されています。また、2025年4月1日にひたち野うしく駅・岩間駅・十王駅にお客さまサポートコールシステム導入、相馬駅にお客さまサポートコールシステム運用拡大、川島駅・玉戸駅では巡回型管理の導入の説明を同時に受けました。この間、統括センター化に関する体制やお客さまサポートコールシステムについて労使議論を積み重ねてきましたが、箇所体制変更に伴う組合員・社員への負担が増し、お客さまサービスの低下が危惧されます。

従って、本施策を組合員・社員が安全で働きやすい職場をめざし、お客さまサービスの向上につながる施策とするため、下記の通り申し入れを行いました。今後、組合員・社員の要求をもとに、団体交渉を実施します。

### 要求項目

1. 今施策の目的を明らかにし、安全で働きやすい職場環境を構築すること。
2. 土浦統括センター（龍ヶ崎市駅）お客さまサポートコールシステム導入に伴い、変更となる業務や業務執行体制について明らかにすること。
3. いわき統括センター（泉駅）貨物列車の一部運転取止めに伴う作業ダイヤの見直しの変更となる業務や業務執行体制について明らかにすること。また、列車遅延時等の輸送業務について、安全に業務に従事できる体制を構築すること。
4. ひたち野うしく駅・岩間駅・十王駅にお客さまサポートコールシステムの導入、相馬駅のお客さまサポートコールシステム運用拡大を行う理由を明らかにすること。
5. 第2オペレーションセンターを新設した理由と現状を明らかにすること。また、コールセンターにつながるまで時間が掛かっていることへの対策を具体的に示すこと。
6. 川島駅・玉戸駅に巡回型管理の導入を行う理由を明らかにすること。また、異常時における駅間の移動について、対応を明らかにすること。
7. お客さまサポートコールシステム稼働時間帯において、列車遅延時の放送が行われていないことから、管理駅より放送が出来る体制を構築すること。
8. 組合員・社員が不安なく安心して働くために、教育・訓練等は事前に行い、働きがいを持てる施策とすること。
9. 本施策に伴う異動が発生する場合、ジョブローテーションの趣旨に則り、本人希望を尊重すること。

**JR東労組水戸地本は組合員・社員の要求をもとに、団体交渉を行います!**